

# 介護保険の大改悪で多くの「介護難民」も

社会保障を大変質させる医療・介護総合法が6月18日の参院本会議で自民・公明両党の賛成多数で可決、成立しました。日本共産党など野党各党はそろって反対しました。

今回の法は医療・介護両分野に大変化をもたらしますが、今号では上越市の介護保険にどんな影響をもたらすのか、現段階でわかる

ことをお知らせします。

介護保険で「要支援1・2」と認定された人（4月現在、3351人）は「訪問介護」と「通所介護」を介護保険では受けられなくなり、市町村による「地域支援事業」の対象に置き換えられます。

地域支援事業に移行した場合の専門的サービスは、良くても現状維持にとどまり、2025年度には5割程度に削減されるという試算が国会に示されました。

新たに要支援と認定された人には、ボランティアなどのサービスしか提供されなくなる恐れがあります。

なお、6月議会での平良木議員の一般質問に答えて市長は、「地域資源やニーズを踏まえてそれぞれの自治体が地域の実情に応じた独自の取組を進める契

機となるなどのメリットが大きいのではないかと評価しています。しかし、平良木議員の再度の質問に対し、「独自の取り組みは現状の中で不可能でないと思う」とも答えています。今後の動きをしっかりとチェックしていきたいと思いま

今回の改悪で、特別養護老人ホームへの入所は原則として要介護3以上に限定されます。1355人（昨年7月のデータ）の特養待機者のうち385人（同）は「要介護1、2」です。こうした方々は、今でも入所待ちの行列に並んでも後回しにされていますが、今後は虐待を受けている人などごく一部を除き、行列に並ぶことすら許されなくなりそうです。今回の改悪で、多数の方々の入所の権利を奪いながら、それに代わる施設計画は示されていません。「介護難民化」はいつそ

う深刻にならないで済ませないでしよう。

う・きょうじ）さん。消費税について1時間半お話を聴きました。際限なく税率を引き上げる欠陥、トヨタ自動車など輸出大企業に還付金をもたらす不公平、景気後退を招く欠陥などについて、資料を駆使して語っていただき、とても勉強になりました。総会では、日本共産党を代表して挨拶させていただきました。消費税の税率アップの後、私たちに寄せられた声などを紹介しながら、「中小事業者の営業とくらしを守るために、ともにがんばりましょう」と訴えました。

## 民主商工会総会で挨拶



5日、上越民主商工会の総会・講演会に出席してきました。講演の講師は、元静岡大学教授の湖東京至（こと

## 上越市における介護認定の動き（いずれも4月末現在）

区分	H24.4月末(人)	H25.4月末(人)	H26.4月末(人)
要介護認定者数	12,392	12,788	12,981
65歳以上認定者数	12,044	12,452	12,674
65歳以上認定率	22.3%	22.5%	22.3%
64歳以下認定者数	348	336	307
要支援1・2	3,011	3,202	3,351
要介護1・2・3	6,199	6,498	6,642
要介護4・5	3,182	3,088	2,988

## 上越市における介護度別の特養ホーム待機者数

（昨年7月1日現在）

介護度	合計(人)
介護1	110
介護2	275
介護3	344
介護4	311
介護5	315
合計	1,355

※このデータは昨年7月1日現在のものです。新しいデータはまだ発表されていません。



【ヒヨドリバナ】キク科の多年草。漢字で「鶉花」と書きます。ヒヨドリが鳴く頃に咲くことからついた名前だそうです。写真は浦川原区有島にて撮影しました。

# はしづめ法一の活動レポート

No.1665 2014.7.13  
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
 Tel 025-548-3628 吉川有線 4867  
 通じないときは 090-5392-1961  
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp  
 URL http://www.hose1.jp/



ブログ「ホーセの見  
 てある記」は  
 ← こちら

橋爪法一

検索

# 介護保険の大改悪で多くの「介護難民」も

社会保障を大変質させる医療・介護総合法が6月18日の参院本会議で自民・公明両党の賛成多数で可決、成立しました。日本共産党など野党各党はそろって反対しました。

今回の法は医療・介護両分野に大変化をもたらしますが、今号では上越市の介護保険にどんな影響

をもたらすのか、現段階でわかることをお知らせします。

介護保険で「要支援1・2」と認定された人（4月現在、3351人）は「訪問介護」と「通所介護」を介護保険では受けられなくなり、市町村による「地域支援事業」の対象に置き換えられます。

地域支援事業に移行した場合の専門的サービスは「多くとも現状維持」、2025年度に5割程度になるという試算が国会に示されました。新たに要支援と認定された人には、ボランティアなどのサービスしか提供されなくなる恐れがあります。

なお、6月議会での平良木議員の一般質問に答えて市長は、「地域資源やニーズを踏

まえてそれぞれの自治体が地域の実情に応じた独自の取組を進める契機となるなどのメリットが大きいのではないかと評価しています。今後の動きをしっかりとチェックしていきたいと思えます。

今回の改悪で特別養護老人ホームへの入所は原則として要介護3以上に限定されます。1355人（昨年7月のデータ）の特養待機者のうち385人（同）は「要介護1、2」です。こうした方々は今でも入所待ちの行列に並んでも後回しにされていますが、今後は虐待を受けている人などごく一部を除き、行列に並ぶことすら許されなくなりそうです。今回の改悪で多数の方々の入所の権利を奪いながら、それに代わる施設計画は示されていません。「介護難民化」はいつそう深刻にならないでしょうか。

## 上越市における介護認定の動き（いずれも4月末現在）

区分	H24.4月末(人)	H25.4月末(人)	H26.4月末(人)
要介護認定者数	12,392	12,788	12,981
65歳以上認定者数	12,044	12,452	12,674
65歳以上認定率	22.3%	22.5%	22.3%
64歳以下認定者数	348	336	307
要支援1・2	3,011	3,202	3,351
要介護1・2・3	6,199	6,498	6,642
要介護4・5	3,182	3,088	2,988

## 上越市における介護度別の特養ホーム待機者数

（昨年7月1日現在）

介護度	合計(人)
介護1	110
介護2	275
介護3	344
介護4	311
介護5	315
合計	1,355

※このデータは昨年7月1日現在のものです。新しいデータはまだ発表されていません。



【ヒヨドリバナ】キク科の多年草。漢字で「鶉花」と書きます。ヒヨドリが鳴く頃に咲くことからついた名前だそうです。写真は浦川原区有島にて撮影しました。

## 大島区に台風被害集中



台風8号による被害は上越市内にも出ています。被害の多くは道路関係で、土砂崩れや道路への土砂流失です。被害の最も多かったのは大島区で、道路関係だけで8件にもなっています。写真（橋爪が撮影）は大島区大島地内の市道道田線です。土砂崩れのため10日現在交通止めとなっています。

はしづめ法一の  
活動レポート

No.1665 2014.7.13  
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628 吉川有線 4867  
通じないときは 090-5392-1961  
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp  
URL http://www.hose1.jp/



ブログ「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一 検索

# 春よ来い

## 第三二二回

## チマキづくり

子どもの頃からずつと食べてきたチマキ、まさか自分で作るチャンスがやってくるとは思いませんでした。チマキづくりをするから参加しませんかと平良木さんに誘われ、先週の日曜日、上中田の公民館へ行ってきました。

午前九時ちよつと前、公民館に到着。会場である二階の大きな部屋に入ると、そこには十数人のお母さんや子どもさんたちがすでに集まっていました。窓の外の眺めは良く、すぐそばに小さなグラウンド、西南方向には南葉山が見えます。

板の間には縦四段、横三段ほどの大きな青いシートが敷いてあり、といたもち米、笹の葉、スゲ代わりのヒモなどが用意されていました。美佐江さんの短い挨拶と手順についての説明が終わった後、いっせいに作業が始まりました。

正直言つて、これまで私は作り方を覚えようという気持ちを持ってチマキづくりを見たことはありませんでした。ですから、何からはじめて、どんなことをすればいいのか、ほとんどわかりません。幸運にも、すぐ隣におられたお母さんが、お孫さんをだっことして教えようとしておられました。その様子を見ながら、私も挑戦しました。

まずは笹の中に米を詰め込む作業です。笹の葉は、裏の方が内側になるように使います。二等辺三角形をイメージし、笹を二回ほどくるくるつと巻き、そこへスプーンを使って米を入れる、ある程度入ったところで箸を使って押し込める、この詰め具合がチマキの出来に大きく関わります。米は入れ過ぎないようにするのがコツです。

次は笹の葉で米を包み込む作業です。米が入り、先の細くなつた部分を下にしながら、もう一枚の笹の葉を横にして上部にかぶせます。笹は左右のバランスを意識して表側から裏側へびしつとくぶせ、二等辺三角形からはみ出た部分は裏側へと折り曲げます。ここまではそう苦労しないで覚えられます。

問題はその後です。スゲ代わりのヒモを使った結びが待っています。左手には米が入り、笹の葉で包み込まれたものがしつかりと押さえられたままです。ヒモは最後にしぼることを考えながら、まず前から縦に後ろへとまわす。それを裏側で押さえ、一方のヒモを前側に持つてきて親指にくるとかける。もう一度くるりと回し、最初に親指にかかったヒモの中にヒモの端の部分を通す。通ったら、後ろのヒモをきゅつと引つ張る。これで出来上がりです。私はこの結びを覚えるのにかかる時間がかりました。

まわりを見ると、昨年も参加したというY子さんが椅子に座りながら、手際良く、ヒモを結んでいます。私の正面にいたT子さんもチマキづくりはベテランなのでしよう、指の動きにリズムがあり、それを見ているだけでも、すごい人だなと感心してしまいました。

私と同じように悪戦苦闘している人もいました。用意されていた笹の葉のなかには小さなものもありました。笹の葉を巻いて折るのに手間取る人、結びがなかなかうまくいかない人もいました。でも、みんながわいわい言いながら教え合つて、最後はできるようになる。不器用な私でも一時間ほどで出来るようになり、夢のようでした。

チマキづくりをしている最中、私の右の方にいたお母さんの、「出来の悪いのはバクハツするのよね」という言葉がずっと胸に残りました。この日、私が巻いたチマキは八個です。お昼休みに美佐江さんから茹でていただいたところ、「バクハツ」し、米が笹の葉からはみ出たのは最初の一個だけでした。ああ、よかったあー。

## しょうしがらずにみんなで楽しく…ほたるコンサート

ホタルの季節が終わろうとしています。5日の夕方、大島区の大島生涯学習センターで第23回ほたるコンサートが開かれました。

コーラスグループ、コールチロル大島のみなさんの「シャボン玉」の歌で開幕。この日のゲストは沖縄出身の歌手、普天間かおりさんでした。夕日に照らされた体育館の窓格子が舞台のバックに映るなか、「僕の誇り」「ららら大島」など明る

い透き通った歌声が会場に響きました。「しょうしがらずに合いの手入れて」の注文に、会場では「ハイヤ、イヤ、ササ」で盛り上がりました。

普天間さんは今回で3回目の大島区での公演。すっかり溶け込み、楽しいコンサートになりました。

### 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16 $\mu$ Sv(マイクロシーベルト)だということです。

	7月2日(水)	7月9日(水)
上越南消防署	0.036	0.033
上越北消防署	0.050	0.043
新井消防署	0.047	0.050
頸北消防署	0.040	0.046
頸南消防署	0.053	0.043
東頸消防署	0.060	0.050
高士分遣所	0.047	0.047
名立分遣所	0.053	0.050

